新京日日新聞 夕刊 十二月十八日（月）
定價 一ケ月 金一圓八十錢 一部 金三錢 廣告料 一行 金五十錢
新京永樂町四丁目 新京日日新聞社 電話 二二〇〇・三〇二四
發行兼編輯人 十河泰一 印刷人 松谷二郎

昭和八年の回顧（六）

暴利取締令で 市中の景氣は爆發的に進む

滿洲國財界の一年（F）

さて昨年末の新京人の懐さ、現在の新京人の懐を比べて見るさどうだらうか、昨年末料亭の賣り揚げが十七萬圓だつたのが、今年は十一月既に十九萬圓を超過し、十二月は忘年會が多いので、二十一萬圓位には達すべく、たさへ新京人が良く散ずるから云つて、料亭の賣りあげが二十萬圓を突破することはそれだけ景氣が良いわけで、昨年十二月末の郵便局の窓口は

△爲替
拂出 一一六、八六五、三八
受入 四二〇、三五七、〇九

△貯金
受入 一七〇、七二七、五一
拂出 一六三、〇八三、三八

△振替貯金
受入 三九七、六七九、三二
拂出 四二、二五八、八四

であつたのが今年は十一月末の、未だ本格的に金が動かぬ時既に貯金だけでも受入二十萬圓に對し十二月に入つてからはボーナスが入つたため、毎日貯金のため窓口を訪れる者が多くなつた、又滿電のマーケットは昨年末は七、八千圓の賣り揚げであつたが、今年は一萬圓は優に突破する豫想である、又吾等の足である馬車は昨年は二千台そこそこであつたのが、今年は四千六百號までその中破損その他で使用してゐないものがあつても三千五百台は下らず、自動車は昨年七十台だつたのが急激に増加して今では乘用車、トラック合して千二百余、勿論その中市外で使用されてゐるものがあるが、頻々さして起る交通事故は自動車洪水を雄辯に物語つてゐるもので、それ等の自動車が、市中を僅か五十錢で走つても、充分經營出來る位に利用者も多くなつてゐる、かくて市中の景氣が良くなるにつれて、商店方面も活況を呈し、遂に新京署が暴利取締令を出して取締るほど、商店は不景氣不識さなり、諸物は需要供給のバランスを失して物價が騰り、遂に「新京の物價全滿一」なる有難くない評が流布されるに至り、世界の景氣を一人で背負つてゐる樣な噂が日本にまで聞こへ、來滿者引きも切らずこの物價全滿一なる汚名を雪がんものさ、滿鐵の勸業係が主催して衣食住座談會を開いてどうやら新京の物價高からずと云ふ說に到達したが輸入組合では十二日から、食料雜貨の公定相場を制定、百七十品目について最高値段を決定した、又市中の勞貨は、苦力が、昨年まで銀五十錢だつたのが、今では、銀七十五錢から八十錢に騰り、日本人土工は三圓五十錢、左官は四圓五十錢、大工四圓、瓦職四圓、鐵工四圓五十錢、滿人は杭字工一圓五十錢、土工一圓十錢、大工一圓六十錢さなりそれ等が、市中商店の賣り揚げにも影響して、いよいよ新京景氣は爆發的に躍進し、目下開催中の市中聯合大賣出しも客の出足良く、商人連は算盤の珠をはじいてホクソ笑み、又料亭も忘年會の出足良く、今年で事變前からの借金から完全に脫れられるぞと馬力をかけてゐる、さまれ、滿洲財界躍進の一年跡を受けて來年も國都建設事業の躍進と共に輝かしくも喜ばしい新玉の年を迎へんとしてゐる

生産制限と生産割當 自發的に決議 鮪罐詰業者總會で

〔東京十七日發國通〕鮪油漬罐詰の生産制限並に生産割當に關する日本鮪油漬罐詰業水産組合の總會は十九日午後一時開會したが議論沸騰し十六日午前五時に至つて漸く散會した、しかして總會は明年度の生産を五十萬箱までさすることを決定し、これに基き各組合員への生産割當を完了した、目下アメリカに於ける當業者の我が鮪罐詰に對する壓迫運動は頗る猛烈で今回も邦品に對する關税率一割九分引上げを決定し產業復興法の適用ある場合には更に一段の對策を講ぜんさしつゝあるが我が當業者間にも現に共同販賣會社が設立され、業界統制へさ進みつゝあるさころで今回の自發的生産制限はアメリカ側にも相當好影響を與へるものさみられ、結局日米當業者間に妥協が成立するものさ觀測されてゐる

外國貿易管理 會社を設立

〔ワシントン十六日發國通〕ル大統領は各國さ互惠關税又はバーター制度に關する國際的取決めを行ふ權限を議會に要請するものさ傳へられてゐたが十六日權威ある筋より確聞するに、これが手初めさしてル大統領によつて任命された關税物々交換制度委員會委員長ピーク氏は米國の全外國貿易を管理する一つの有力な半官半民的輸出會社の設立を考慮中である、而して右輸出會社の內容は左の如きものである

一、輸出會社の資本金は約十億弗さし、政府も民間工業家さ共に、その出資に參與す

一、同會社は政府の統制下に置かれ、輸出向け生産の管理をなす

一、政府は輸出割當量を増加し海外市場の發展を期するため輸入品さ關税の關係につき充分當該輸出國さ折衝を重ね米國の輸出を有利ならしむる樣努力す

聯盟改組案 べ、ボ兩相間に 完全な意見の一致

〔パリ十六日發國通〕十四日パリに到着したチエッコ外相ベチラシユ氏はボンクール外相さ爾來數次に亘り膝を交へて種々懇談を遂げつゝあつたが、十六日に至り、聯盟改組問題及び中部歐洲の經濟的再建問題の三重要懸案に關し兩者間に完全なる意見の一致を見るに至つた、十六日の會見終了後ボンクール外相は右に關し聲明書を發して曰く

聯盟改組問題に關しては吾々は聯盟の機構を改革せずして聯盟の機能をより有効且つ完全に運用する手段を發見し得るものさ信じ吾々は從來さ同樣あくまで聯盟さ緊密なる結合を保つて行くことを更めて確約した、軍縮問題に關しては目下歐洲各國外交當局間に如何なる折衝が行はれて居ようさもその最終結果はジユネーヴに於て到達さるべきことを確認した、而して最後に中部歐洲に於ける經濟的協力も實現可能であるさ言ふに意見の一致を見た

快速貨物船 小牧丸竣工

〔神戸十七日發國通〕昨年六月播磨造船所で建造を開始した國際汽船の小牧丸（六、四七〇噸）は十六日完成した、尙同船の速力は二十ノットで正に世界で一番速い貨物船で神戸よりニューヨーク、ロスアンゼルス、マニラをつなぐ定期航路に就航する筈である

故新渡戸博士の記念碑建立 ビクトリヤで

〔バンクーバー十六日發國通〕去る十月ビクトリアで逝去した故新渡戸稻造博士記念事業が當地有力者によつて具體化され、近く同博士の記念碑が建立されることになつた

英國極東艦隊 司令官會議

〔ロンドン十六日發國通〕英國海軍省は十六日極東艦隊司令官會議は明年一年シンガポールで開かれる旨を發表した

鐵路總局 新採用者 夫々任地へ

〔奉天十七日發國通〕鐵路總局新採用者第一班一行二十二名は十七日午前八時二十五分元氣一杯で奉天に到着した、一行は奉天に三泊し、その間種々の訓示を受け又市內見物の上、來る二十日奉天發夫々任地に向ふ豫定である

日滿悲曲

生命線を行く（四十六）

國友雄吉（荒川芳三郎畫）

狂亂兵の群

市子の歸つて來たのを見ると、支那兵たちは、直ぐに彼女を取卷いた。そして、

「主人は何處だ。金を出せ」と口々に怒鳴るのであつた。

市子は恐怖の裡にも、金さへ出せば、命に別條はあるまいと思つたので、早速、日本紙幣、新國家の紙幣など取交ぜて、有るだけの金全部を、そこへ投出した。

すると支那兵たちは、市子の目の前で、それを勘定して、それを分配して、各々ポケットへねぢ込むのであつた。淺ましいともなんとも言ひやうがない。

そして、それをしまふと、

「金はまだあるだらう。主人の居處を知らせろ！」など、更に執く強請るのである。まつたく手の付けやうがない。

「主人は居ない。金は、それで全部だから――」といふと、

「金がなければ、貴金屬、時計、指環、なんでもいゝから出せ。出さなければ、是だぞ！」

狂亂せる支那兵の一人は、市子の咽喉に、ピタリと銃口を當てがつて、今にも、引金を引きさうな氣勢を示すのであつた。

子供の悲鳴がその時、不圖市子の耳へ、聞くやうに聞えて來た。

「茂彦でないか」と思つたら、彼女はもう、支那兵なんかに取合つて居られなくなつた。どうなつたつて、構ふものかと思つた。

いきなり身をひるがへして、彼女は、再び戸外へ飛び出さうとした。

しかし、それは駄目だつた。彼女はいきなり、襟先を摑んで、引戻された。

「あれ！ 放して――」

市子は一生懸命に逃れやうとしたが、その甲斐はなかつた。支那兵たちは、さながら花を踏みにぢる狂風のやうな勢ひで、彼女の倒れた上に折重なつて來て、臥へつける、手を握る、亂暴の限りを盡して、たうとう彼女を高手小手に、縛り上げてしまつた。

「坊や――茂彦――」

縛られても市子は、尙、我子の名を呼ぶことを忘れなかつた。

支那兵は、尙、荒せるだけ家の中を荒し廻り、掠奪できるだけ掠奪してしまふと、憎々しい嘲笑を跡に、間もなく引揚げて行つた。

そしてその引揚げの際、野獸が獲物を運ぶやうにして、無慘にも縛つきの市子をも、引立てゝ行つてしまつたのである。

市子は、恐怖も悲しみも通り越して、疲勞と興奮の極、さながら魂の脫けた人のやうになつて、フラ〳〵と引立てられて行つた。

今はもう、我子の名を呼ばうとする力もなくなつてゐた。

しかも、母の悲しみを他所にして、その茂彦は、何處へ行つたのか、まだ、何處からも現はれて來なかつた。親子は遂に離れ〴〵となつてしまつた。

この日、支那兵は、尙、到る處で、日本人とさへ見れば、無辜の容赦なく、あらゆる侮辱と亂暴を加へ、鬼とも惡魔とも言ひ樣のない殘虐性を發揮したのであつた。

午前十時、蘇炳文の副司令吳德林から、わが山崎領事と、宇野國境警察隊長と、小原特務機關長の三氏に向つて、「お話したいことがあるから、至急司令部まで來て貰ひたい」と言つて來た。

三氏は、多少不審に思ひながらも、取敢ず前後して司令部へ行つて見ると、意外にも三氏は遂に、暴力を以て、そのまゝ監禁されてしまつたのであつた。

茲に、反逆の口火を切つた吳德林配下の師は、一方、國境警備隊を包圍して、隊員に武裝解除を迫り、更に領事館を封鎖し、滿洲國警察吏員等を拘束するの暴擧を敢てした。

しかも狂亂せる彼等は、それに滿足せず、尙在留日本人に危害を加へやうとして、ドッとばかり市街に亂入した。その勢ひは、[illegible]のやうでもあり、また飢えたる狼の群のやうでもあつた。

第六十五議會迫る！
重要問題山積し 相當紛糾を免れず
政府無事切拔け策に苦心

〔東京十七日發國通〕政府は來年度豫算編成も終り議會召集日も切迫したので對議會策につき萬遺漏なきを期し着々準備を進めて居るが、政府側の對議會方針としては先づ内政會議で政、民兩黨及び貴院方面で熱心に要望してゐる。

『農村對策』については、相當考慮をなし、具体的施設をなし得ないものは調査會で審議することとし、夫々出身閣僚其他より所屬黨の諒解を求むると同時に、議會前には齋藤首相も政、民兩黨總裁を訪ひ諒解を求め無事切拔け策を講ずる事となつてゐるが、今期議會は前議會とは異り相當荒れる模樣であり、殊に豫算問題では國防費と一般國費との關係、財源關係よりの赤字公債問題等は可成り深刻に論議され、同時に農村對策に關しても議論は沸騰するものと豫想されてゐる、以上の如く重要問題が山積して居るので、本會議を始め

『豫算總會』で活潑な討議が行はれるものと思はれ、豫めこれが對策を講ずる必要は痛感されるが、現内閣は寄合世帶の悲しさで答辯等に就き豫め打合せをなす時は忽ち筒拔けに政、民兩黨に知られ、却つて乘ぜられる危險が充分あるので政府首腦部の意向では最惡の場合は死中に活を得る最後の決意を定め、正々堂々無策の對策主義で出たとこ勝負で議會に臨むものゝ如くである

來議會提出の新法案に就き
政府側で審重協議

〔東京十七日發國通〕來る二十三日に議會が召集されるので、政府では議會に提出する法律案を整理中であるが、來議會は一九三五年の危機を前にして外交、國防、財政、經濟、思想、農村等の重要問題が山積して居り、政府でも之が切拔けを重大視してゐる、これがため非常時豫算として二十一億餘の未曾有の巨額を計上し、五相會議、内政會議を開催して非常時に對する認識を深めると共に、議會對策の準備をなし殊に議會に提出の法律案に對しては最も愼重なる態度を執り、十四日の下打合せの次官會議でも未決定次回會議に持越されたが、で提案中確實と觀られるものは左の如きものである

一、選擧法改正案
一、議員法改正案
一、健康保險法改正案
一、團体保險法案
一、輸出組合法改正案
一、原蠶種國家管理法案
一、治安維持法改正案
一、出版法改正案
一、新聞紙法改正案
一、工場法改正案
一、貿易管理法案
一、私鐵補助法改正案

未決定なるものは

一、農林保險法案
一、小作法案
一、特種金融機關新設法案
一、特許統制法案

等である

年内の議事日程
二十三日より開會

〔東京十七日發國通〕第六十五議會は愈よ來る二十三日召集されるので政、民兩黨は廿二日、國民同盟は二十一日夫々議員總會を開き議會に臨む陣容を整へることゝなつたが年内に於ける議事日程は左の如し

△二十三日 召集、貴衆兩院成立を告げ相互及び政府に通告する
△二十四日 日曜休日
△二十五日 大正天皇御靈祭のため休會
△二十六日 午前十一時貴族院で 天皇陛下親臨の下に開院式を行はせられ、右終了後衆議院は本會議を開き勅語奉答文を可決する
△二十七日 貴族院は午前十時、本會議を開き勅語奉答文を可決、引續き全院委員長の選擧を行ひ各部に於て常任委員の選擧をなし、又衆議院は午前十時半、本會議開會全院委員長の選擧並に各部で常任委員の選擧を行ひ更に常任委員長及び臨時委員長の互選を行ふ

斯くて二十八日より明年一月二十日迄休會することに決定した

ソ聯ペルシヤ間に 通商協定成立
永年の意見の相違全く解決

〔モスクワ十七日發國通〕ペルシヤ駐在ソヴエート通商代表ショスタク氏とペルシヤ通商局長バフマン氏とは過般來協議を重ねつゝあつたが、十六日になつて兩者間に永年の懸案たる通商問題に關し協定に到達し、現行露波通商條約の諸條項の疑義を明確ならしめた之によつて久しきに亘つた兩國間の通商問題に關する意見の相違が解決された譯で殊に重大問題の中心となつてゐたもの、例へば露波貿易取引高の計算方法、ソヴエートよりペルシヤへの輸出割當量等に就き協定を見たのである

外蒙古の反ソ暴動 益々擴大さる

〔ハルビン十七日發國通〕外蒙の反ソ暴動は益々擴大の形勢あり、ソ聯官憲及び關係者親ソ蒙古人は暴徒の勢力漸増に身邊の危險を感じソ聯領土内に引揚け、逃込むもの多數あり、又一方ソ聯の壓制に堪へ兼ねて暴徒となつた蒙古良民は安住の地を求めて蒙古奥地に向はんとしつつあり

暴動の原因は ソ聯官憲の家畜徴發

〔ハルビン十七日發國通〕外蒙に反ソ聯暴動が頻々として勃發しつゝある時外蒙より當地に來れる一露人は右暴動勃發の一因とも見做されるる左の事實ある事を語つて居ると、即ち牧畜を主生産とする蒙古人は彼等が飼育する家畜が唯ソ聯官憲及びこれが關係者により無條件に徴發され且つ彼等が飼育を怠る時はこれに對して相當の責任を負はされるので蒙古人は彼等自身の生活を保證することが出來ないばかりか家畜の漸減とへ見るに至つたのでソ聯の不當壓迫より逃れんとせるも一因と見られる

中央の手に移つた滿鐵改組案
重視される監督權
結局一部の改正に止めて 圓滿に解決しやう

〔東京十八日發國通〕滿鐵改組案の最後の決定は滿鐵正副總裁の上京により愈よ中央部の手に移つたが、陸軍では新京から改組案を携行した平井一等主計の報告を俟つて一應案の内容を

『檢討』した上拓務當局との折衝を開始する筈であるが、その折衝は各方面に刺戟を與へることを避ける方針の下に曾議等の形式を避けて一先づ陸軍、拓務當局の事務的折衝によつて最後案を作成する意向で改組案中最も重大視されて居る監督權の問題に就いては中央部首腦當局の意向は現行

『一部』は改正して關東軍司令官に移すべきであるとして居るが改組案の最後の決定に就いては結局中央關係當局の間に圓滿解決をみるものと明待されて居る

商工省關係 法律案

〔東京十七日發國通〕來る第六十五議會に提案すべき商工省關係法律案に關しては目下關係各部局に於て準備中であつたが近く省議を開き正式にこの方針を決定することとなつて居るが、大体提出に決定して居るものは倉庫業法案、地震保險法案、輸出組合法案、輸出統制法案又は外國貿易管理法等である、又前記貿易に關する輸出組合輸出統制の二法案に關聯して全面的に生産方面をも統制の完璧を期するため臨時重要産業統制法及び工業組合法の改正案の提案を必要とするに至るやも知れず、目下大局より之等の點を愼重考究中であるが輸出組合、輸出統制の二法案の要綱は左の如くである

一、輸出組合法改正案
政府の指定せる特定物品に關する輸出組合は必要に應じてその設立を強制せしむる新條項を挿入すること、現行輸出組合法で明瞭を缺く「輸出を業とする者」の範圍を明確にすること
組合員及び組合員外に對する制裁規定たる現行法第九條を更に嚴格にし過怠金、過料を罰金刑に改む

一、貿易管理法案又は輸出統制法案 貿易統制を本旨とする本法案は輸出組合法に關聯して輸出の（管理の場合は輸入をも含む）統制並に伸縮關稅制度の確立を圖り從來の統制を更に完全ならしめる

農村負擔輕減
内務省具体案作成

〔東京十七日發國通〕農村對策の内政會議は農村負擔不均衡問題に關して調査會を設置しこれが是正輕減の根本策樹立に努力する事となつた。これに關する内務當局の方策は

一、財源を地方自治體に附與すること、即ち地方財政調整交附金制度により擔稅力あるところより國が徴收しこれを府縣市町村に交附す而して財源としては相續稅資本利子稅、第二種所得稅の增徴、奢侈稅新設等の方法による
一、戸數割地方附加稅、特別地稅制限外課稅輕減並びに是正等
一、府縣の廢合、地方行政の根本整理を斷行して地方團體の經費節約を圖るべきであると云ふにある

松岡洋右氏
政黨脱退後の第一聲

〔東京十七日發國通〕政黨に左樣ならをして松岡洋右氏は十七日午後一時から日本青年會館で帝都に於ける政黨脱退聲明演說の第一聲を擧け非常時に際して國民に訴ふ大熱辯をふるつたが、聽衆は場内外に溢れ頗る盛大であつた

國債八十億
大藏省調査

〔東京十七日發國通〕大藏省の調査による十一月末現在に於ける内外國債合計は七十八億九百十圓に達し、本年度新規發行未濟赤字公債及び交付公債未發行分合計約三億三千萬圓を考慮する時は國債現在額八十億圓を突破することは一兩月中であり、更に既に發行した大藏證券三億二百四十萬圓を加算する時は已に完全に八十億圓臺に到達してゐる

滿鐵辭令

准傭 福留 鐵男
同 設樂 勇
同 石原 紳諦
甲種傭員を命す 新京保安區電線方を命す
新京機關區掛手 甲傭 山崎 儀信
新京驛々手を命す 准傭 宇賀 四郎
同 黑木 武夫
甲種傭員を命す 新京保安區庶務方を命す
鐵道部工作課技術方 雇員 西山進
新京鐵道事務所技術方を命す

北鐵を繞る滿ソ關係惡化
田機務處長の免職を迫つて まづ白系助役を馘首

〔ハルビン十七日發國通〕北鐵を繞る滿ソ對立は漸次表面化し、ソ聯側は從來の消極戰法より積極戰法に移り滿洲國側に對して、田機務處長の免職を迫ると共にルヂー局長は滿洲國政府任命のブヘト驛助役白系露人サワーを馘首した、これがため滿ソ間空氣は益々惡化しつつあり

關東軍大山法務部長 陸軍法務局長に
近く正式に榮轉せん

〔東京十七日發國通〕陸軍法務局長鈴木直太郎氏は今回依願免官となり、關東軍法務部長大山文雄氏がその後任に内定、來週閣議に附議決定される筈である

汎米會議 總會

〔モンテビデオ十六日發國通〕十五十六日の汎米會議總會は十五日經濟委員會で可決された米國提案の關稅引下げ決議案並に平和委員會で可決されたチリー、アルゼンチン提案の五平和條約批准案を滿場一致で承認した

鳥井博士 來京

吾國考古學界の泰斗文學博士鳥井龍藏博士は夫人令孃令息等一家總動員で今夏來熱河から蒙古奥地に入り、古代文化の研究調査中であつたが、此程一通りの研究を終へ支那服姿の夫人、令孃、助手を同伴十八日午前七時着列車で來京直ちに大和ホテルに投宿、午前九時關東軍司令部を訪問來京の挨拶をするところがあつたが、今冬は一應内地に歸國の上、明年夏季再び熱河に入る豫定であると

滿鐵改組は 三六年以後に
拓務省態度變らず

〔東京十七日發國通〕滿鐵改組案に對する拓務省の態度は從來と變化なく、結局改革は一九三六年以後の問題とした き向であつて多分專ら資金の調達に努力する模樣である、從つて改組は當分延期の已むなきに至るものと觀られ、監督制度の樹立に關しては今後も調査を續ける方針であると言ふ

筒井潔氏
駐滿大使館へ

〔東京十七日發國通〕在米國大使館參事官武富敏彦氏がオランダ公使に榮轉すればその後任としてはサンフランシスコ總領事富井周氏が起用され情報部第三課長筒井潔氏は駐滿大使館一等書記官に榮轉する模樣である

永井拓相の 反對意見公表
陸軍中央部は大不滿

〔東京十八日發國通〕滿鐵改組案について永井拓相が反對意見を公表せるに對し陸軍中央部では非常な不滿を懐いてゐる、即ち

一、滿鐵の根本機構の變革は其礎薄弱ならしめると言ふが滿洲國の出現以前既に行き詰りを見せてゐる滿鐵が今日從來の機構を以て滿洲國開發の大任を完成するは不可能であるから根本的改革をなすは當然である
一、從來政黨の喰ひ物にされてゐた觀があつたからこれから脫却せしめ國家機關として其の機能を發揮のため其の變革は必要である
一、變革は一般社會に不安を與へ資金の調達を困難ならしめるとの理由を以て反對してゐるが同案は斷じて社會に不安を與へない、寧ろ不安を與へるのは永井拓相の如き責任者が認識不足で斯る言動をなすにある
一、拓相は社員の不安について言つてゐるが一般社會の實情、滿鐵の使命、國策一九三六年の危機對策等を思へば社員としても此際忍ぶのが當然である

人事往來

▲小磯中將 十七日午後九時廿五分着列車で哈爾賓より歸京
▲森島總領事(ハルビン駐在)十八日午後三時二十五分來京國都ホテルに投宿
▲姜恩元氏(阿片專賣局長)十七日午後零時二十分發吉林へ
▲高崎少佐(線區司令官)同上
▲施履本氏(北滿外交特派員)十七日午後三時二十五分着哈市から
▲岩井少將(豫備役)十七日午後二時十五分着大連から
▲李子香氏(依蘭地區司令部軍醫處長)十七日午後三時二十五分着哈市から
▲米伯芳氏(興京監獄長)十七日午後七時三十分着奉天から
▲高柳中將(滿鐵顧問)十八日午前七時着奉天から
▲川淵治馬氏(衆議院議員)十八日午前九時發内地へ

團体

▲佐々木中尉以下〇〇〇名(〇〇〇隊歩兵第〇〇隊)十七日午前十一時着連山關から
▲人見大尉以下〇〇〇名(同上)十七日午後零時三十分發吉林へ
▲三廻部中佐以下〇〇〇名(〇〇〇隊歩兵〇〇隊)十七日午後九時四十五分發吉林へ
▲松井中佐以下〇〇〇名(同上)十七日午後十一時十三分着奉天から十八日午前零時四十分發吉林へ

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊	一八片八分五
同 遠限	一八片八分五
孟買銀塊	五四留比三分一
紐育銀塊	四三仙四分一
米英爲替	五弗三仙〇〇
米日爲替	三一弗〇〇〇
米支爲替	三三弗六〇仙
スチール株	四五弗四分三
アナゴンダ株	一三弗一六分七

▲上海標金

現物	一〇仙一〇
一月限	九仙九〇
三月限	九仙九九
五月限	一〇仙〇九
七月限	一〇仙二三
九月限	一〇仙三六
十一月限	一〇仙四五

本寄	六九六〇
歩値	六九九〇〇
	六九六八〇

▲上海日本向
第一回 一〇八五〇〇 一〇八八七五

▲上海倫敦向
買値 一志三片八分五
賣値 一志三片六分二

▲上海紐育向
買値 三三弗三分一
賣値 三三弗六分九

▲大連金鈔票
現物 二二八〇〇 二二六五〇
寄付 ●近限 ●先限
歩値 二二七〇〇 一七三五 一七四〇 一八〇〇 出

各地市場

▲大連上海向
引値 一六七五 一七〇〇 不
高値 一七〇〇 來
安値 一七五〇
出高 一六〇〇 申

▲大連煙台向
九七五〇〇 九七四五〇 九七四二五 九七四〇〇 九七三七五 九六九二五 九六八七五 九六九五〇 九六九〇〇 九六八五〇

▲阪神日米爲替
第一回 三〇弗四分三 三〇弗八分一

▲大阪株式
大株 一三〇一〇 一三〇四〇
大新株 一三五六〇 一三七七〇
鐘紡 二四四七〇 二四四九〇

新京市況

▲同短期
同 新 一三三五〇 一三三五〇

▲大連株式
大新 一三三五〇 一三四四〇
鐘新 一三四九〇 一三四七〇
東新 一七五四〇 一七三三〇

▲大阪三品
五品 當 三五三〇 三五四〇
先 三五七〇 三五七〇

當限 二〇五〇〇 二〇四〇〇
一月限 一九六一〇 一九六三〇
二月限 一九四七〇 一九三五〇
三月限 一九三〇〇 一九一三〇
四月限 一八九九〇 一八八八〇
五月限 一八九四〇 一八八六〇
先限 一八八七〇 一八七九〇

糧豆現物
特産豆 八、七〇 一四車 出來
大豆 八、七〇
高粱 三、七〇 八車
小豆 九、三〇 三車

鈔票 錢 鈔
鈔票對金票 一二一五錢
現大洋對金票 一〇九四〇一
國幣對金票 一〇九四〇一
現大洋對鈔票 九九〇一二

新館開業列車ホテル閉鎖廣告

當館新館(客室三十一室竣工、本月二十日より營業開始、列車ホテルは本月十九日限り閉鎖仕り候につき此段廣告仕候

新京ヤマトホテル

巡捕襲撃の犯人一味捕る
強奪の拳銃も押收
天晴れ新京署刑事の殊勳

去月二十七日午後四時五十分ごろ市内高砂町六丁目國際運輸會社苦力宿舎横手で新京總領事館署勤務巡補金兌奎（二五）氏が勤務を終へ歸宅中前記場所に差懸つた際突如怪漢が現はれ背後から金巡捕の後頭部を強打し巡捕の打倒れるや賊は巡捕の所持してゐた拳銃を強奪逃走した事件は本紙が逸つ早く報道した如くであるが、以來新京署では高山署長指揮の下に全署員を召集するとともに總領事館、署憲兵隊、首都警察廳と協力し血眼となり犯人搜査に努めてゐたところ、一ケ月を經過しない十七日遂に犯人一味を新京署員が一網打盡に逮捕した

隱れ家を襲ひなんなく檢擧
山之內巡査を襲つたも一味か

同署成松、岩田兩刑事等は住吉町四丁目大陸窯業苦力宿舍に止宿中の山東省生れ皮清山（三四）同王福有（一九）同張有啓（四五）同姜玉春（二五）の四名がモーゼル拳銃を所持し強盜を働いてゐるとの

＝情報＝を得たため兩氏は極秘に犯人を內査してゐるうち確證を得たので犯人を搜査中十七日午後七時ごろ右の內皮が附屬地境界を徘徊してゐるを發見逮捕し本署に引致取調ると、意外にも一味は金巡查巡捕を襲ひ拳銃を強奪逃走した旨を自白した、同署司法係はこおどりし十八日午前一時倉田司法主任引率の下に各刑事は犯人の隱家である前記大陸窯業苦力、宿舍を襲ひ一味姜、張を逮捕すると同時に苦力宿舍を搜査の結果、倉庫內からモーゼル拳銃の吊紐が發見されたのでます／＼力を得嚴重取調べた末強奪した拳銃を

＝倉庫＝外に埋めてゐるを自白し押收した、續いて同午前八時三十分外出中の王が歸宅したところを有無を云はさず捕縛したが一味は昨年九月新京總領事館署山之內巡查を襲つたものらしく同署では引續取調中である

高山署長 歡びを語る

右に就き高山新京署長は喜びの面持で右の如く語つた

金巡捕が襲はれて以來本署員並に總領事館署員を督し同僚是非とも犯人を逮捕し同僚の恨を晴し且つ署の汚名を雪ぐべく署員を激勵してゐたが倉田司法主任以下各刑事隊は寢食を忘れ文字通りの不眠不休の大活動を續けたため遂にその功むくひられ見事犯人を本署刑事隊の手で逮捕したことは何より喜ばしい、これ皆署員の熱心な努力の賜であり、自分は深く感謝してゐる

金巡捕感謝

襲撃された金巡捕は本月四日全快し滿鐵病院を退院總領事館に勤務してゐるが犯人逮捕の報を還すれば喜びにみちたの如く語つた

實に有難いです本當に嬉しくてたまりません、私は署長始め刑事の方々の御努力を深く感謝してゐます

名古屋ホテル燒く
損害五十萬圓

【ハルビン十七日發國通】北滿唯一を誇る當地キタイスカヤ街日本人經營の名古屋ホテルは十七日午前四時半、半燒した、發火原因其他については目下調查中なるも原因は漏電らしく損害は約五十萬圓の見込である

新京敦化間の乘客難を緩和
來る廿日から實施

京圖線旅客列車の利用客激增し、殊に、新京敦化間は常に滿員の狀態なるに鑑み、吉長吉敦鐵路局に於ては豫てより之が緩和策研究中の處諸種の事情に禍せられ、實施の運びに至らなかつたが愈よ來二十日から新京吉林間第四五一、四五二、列車を運轉し三等客車三輛を聯結吉林敦化間に第四六一、四六二列車（吉林蛟河間）第四六三、四六四列車（蛟河敦化間）を運轉し三等客車二輛を聯結し、新京敦化間乘客の便利を圖ることゝなつたが、右は一方新京濱津間直通、第五一、五二列車の混雜緩和を目的とするものなるに就ては吉林敦化間を往復される場合はなるべく本列車の利用を希望すると、尙右實施と共に新京吉林間及び新京圖們間の輕油動車の運轉を中止することになつた、因に新設列車の發着時刻は左の通り

第四五一列車新京發八、三〇、吉林着一二、三〇、第四五二列車吉林發一五、四〇、新京着一九、四〇、第四六一列車吉林發一三、五〇、蛟河着一七、四二、第四六二列車蛟河發七、〇〇吉林着一一、一〇、第四六三列車蛟河發七、三〇、敦化着一一、五〇、第四六四列車敦化發一三、三〇、蛟河着一七、三〇

金新京市長歸滿

【大連十七日發國通】滿洲國四市長の日本六大都市視察團は十一月八日下關上陸後、約一ケ月に亘り六大都市の施設並びに商工業の情況に就き視察をなし十二月六日大阪で解散したが、金新京市長は十七日香港丸で歸滿した、船中氏を訪へば、氏は病氣引籠中で高橋秘書が氏に代つて語る

六大都市の施設並びに商工業の情況に就き視察をして參りました十二月六日大阪で一行は解散して以來市長は持病の糖尿病で引籠中で御面會出來ないことを誠に殘念に思ひます

淋しき心境を歌に秘めて
歌人吉井勇氏 辭爵を決意

【東京十七日發國通】酒の伯爵歌人吉井勇氏は前夫人德子さんの亂倫振りに

丈夫は淚な見せぞ己れをば
諭せざなほも
しきり泣かるゝ

と淋しき心境を酒に秘め、筆に託し煩悶してゐたが、遂に今回爵位を辭し、同時に貴族院議員をも辭退する決心をなし、近く委細の手續きをとることゝなつたが、紀尾伊町の自宅で、いがぐり頭をかしげつゝ語る

辭爵のことは遠くから深く決意してゐる、今までは幾分政治方面に活動して見度い希望もあつたが、色々世間を騷がせたのだからこれも放棄せねばならぬ、考へて見ると伯爵とか議員とかいふものは僕には板につかない、今後は還俗した氣持ちで歌や小說でも書かうと思つてゐる

紙幣僞造團
上海からハルビンへ

【ハルビン十八日發國通】又上海より紙幣の大僞造團がハルビンに潛入するとの情報を得たる當地の日滿官憲は、極秘裡に犯人探索中の所、一兩日前圖らずも某所に於て國幣と一點の相違なき精巧なる僞造紙幣を發見したので、已に

犯人一味は僞造に着手せるものなりとの推定の下に遽かに緊張大活動を開始した

賣博事件擴大

【長崎十七日發國通】長崎地方裁判所は十九日佐世保より召還した產科婦人科醫品川三郞氏を十六日再召喚取調べの結果贈賄の事實判明したので

小室醫大學長經過報告

【東京十七日發國通】長崎醫科大學の校長小室要氏は十七日朝博士號賣買事件で入京したが、十八日文部省に粟屋次官、赤間專門學務局長を訪問して詳細に報告する筈であるが、尙事件に就いては恐縮して餘り多くを語らなかつた

十七日浦上刑務所に收容することになつた

薩摩守樣激增
有卦に入る滿鐵の旅客收入に珍現象

【大連十八日發國通】本年四月以來滿鐵々道部の旅客收入は滿鐵開設以來空前の增收により好成績を示して居つたが先月末頃より本月に入つて乘車人員は增加せるも却つて旅客收入は著減したと云ふ面白い現象を呈してゐる、即ち從來は全乘客を三等に平均しての一人當り金額が二圓で、それに依り乘車し得る距離が百二十キロとなつて居たところ先月下旬よりの平均が一圓四十九錢で百キロ以內となり大きな減少を來してゐるが、その原因として觀られるものに近來軍事輸送の旺盛と鐵道事業の擴張發展に伴つて、滿鐵並に鐵路總局に於て新社員の採用異動等による無料乘者の多くなつたことを主なる原因とされてゐる

尙特に目立つ最近の傾向は近距離乘者の著增である、それで從來比較的近距離の輸送に使つてゐる輕油動車を三列車廢止し蒸氣列車と代へ運轉してゐる程である、これは鐵道政策上最も堅實な喜ぶべき現象であるとして悅りのものは安堵してゐる

傷痍軍人優遇の爲
鐵道無賃か割引

【東京十八日發國通】傷痍軍人優遇のため國有鐵道無賃パス又は割引を認むることとなり近く公布される事となつた

新京も繫ぐ
―國際定期航空輸送―
素晴しい東西住友系が計畫
わが海軍も大乘氣

【東京十七日發國通】最近住友系を中心とする關西關東の資本家が提携して、硬式飛行船による國際定期航空輸送會社の創立計畫を樹て海軍に非公式に相談を持込んで來た、此の計畫は東京を起點として大阪、臺灣、香港、上海、新京を經て東京に至る循環週廻航路で、資本金五十萬圓を以て創設しツエッペリン硬式飛行船三隻を購入、建造して二隻を運航し一隻を豫備に格納して一隻に船客百五十名、他に二十噸の郵便及び手荷物を積載、輪路せんとする我航空界の劃期的大計畫で海軍でも之が實現に大乘氣となつて居る

三原山突如活動
鳴動をつゞく

【靜岡十七日發國通】はかない戀の天國として有名となつた大島の三原山は十六日突如靜寂を破つて猛烈な活動を始め熔岩火焰を吹き上げて鳴動を續けて居る

哈市總務廳長 佐藤正俊氏著連

【大連十七日發國通】今回山梨縣內務部長から滿洲國入りをしてハルビン特別市總務廳長に就任することゝなつた佐藤正俊氏は十七日午後三時大

城內四萬市民の罐詰開放

縣城內にペスト患者再發生以來鄭通線の旅客禁止に城內四萬市民は全く罐詰の狀態にて關係當局は之れが對策に腐心して居た處十五日より已むを得ざる要件を有する日滿一般市

街の日記

商議と役員就任認可

去月廿八日改選の新京商工會議所議員三十名及本月四日互選の石崎會頭岡田、四戶兩副會頭、栗原、安間、彼末、丸山、中山、寺內の六常議員に對し、十二月十四日附を以て關東長官より就任認可の指令があつた

各驛區長會議

新京鐵道事務所管內では各驛區長會議を左記日程場所において開催される

二十日午前（十一時）新京驛
二十二日　鐵嶺
二十三日　四平街

西村洋行 謝恩特賣
お祝酒の豫約を募集

「米の酒」の店で舊くから知られてゐる富士町二丁目（東二條通）西村洋行では十六日から三十日まで歲末謝恩大特賣デーとして全店をあげて最善の奉仕に努めることになつたが、品質價格ともに絕對確信のもとに「流石は西村洋行」との滿足を得せしむべく、なほ迎春の御祝酒は來る二十九日まで豫約に限つて市價より一、二割安値、大樽卸値段の單價で歲末奉仕することになつた、同店取扱ひの清酒としては黑松白鹿をはのつる白鹿、月桂冠、白鶴、晃陽、アカシヤ正宗などで例年年末は注文殺到するので一日も早く申込まれたいと

新京理髮業組合役員を改選

新京理髮業組合員十七軒は十七日の定休日に金興樓で總會を開き役員の改選を行ひ左の人々が選任された

組合長　淺沼伊之助
副組合長　大居明治郞
會計　福永忠次

評議員阿比留、三谷、青木、松本、顧問に梅本、尙組合員外から得丸助太郞君を顧問に入れたと

新都醫院開業

市內梅ケ枝町三丁目に新都醫院といふが開業した院長は醫學博士鶴村佑一氏、夫人貞枝氏は東京女子醫專出の女醫學士夫婦揃つて診療に從事するさうである

拾ひもの

▲城內西三道街客馬車夫吳萬疇（三〇）は十七日午前九時三十分ごろ流星町から和泉町の間で車上で小供用スケート一足を拾つた

▲新京驛兵站司令部內金剛守氏は十七日午後一時ごろ滿電前でハンドバック一個在中財布現金廿一錢を拾つた

落しもの

▲富士町三丁目黑川カズ氏方店員木本政雄氏は十七日午後七時ごろ三笠町月の湯から自宅に歸途金側時計一個時價卅八圓五十錢を落した

▲室町四丁目七番地大陸別野方片木彌三郞氏は十七日午後四時三十分ごろ二條通阿會時計店前から歸宅中腕時計一個時價二圓六十錢を落した

▲新發屯公安街六一〇清野謙二氏は十七日午後十時ごろ新京キネマから祝町を通り三笠町元演藝館前に行く途中腕時計モーリス時價二十圓を落した

武裝移民視察に
生駒監理局長來滿
在滿邦人の後援に感謝

【大連十七日發國通】拓務省監理局長生駒高常氏は佳木斯永豐鎭、七虎力の武裝移民狀況視察及び明年度移民適地調查のため十七日午後三時入港の香港丸で來連したが船中左の如く語る

事變以來滿洲は二度目である、拓務省武裝移民も二年になる、書類の報告や話では聞いて居るが實際に見たことがないので狀況を見に來た、我々の考へでは移民は大体に於て成功したと思つて居る、來年の移住地は京圖沿線と內定して居るので此の方面を視察し時間があればハルビン郊外農場も見たい正月は佳木斯で迎へる積りだ、滿洲の人々が物質的、精神的に後援されたことを當局として感謝して居る

尙同氏は旅大に二、三日滯在し新京着は十九日の豫定である

日本人港の香港丸で來連したが左の如く語る

滿洲は全く始めてで旅行したこともない、未だ辭令が出ないので新職に對する抱負も述べられないが、まあ何もかも白紙で臨む積りだ全くの田舍者だから宜しく賴む

尙同氏はヤマトホテルに一泊の上明日新京に赴き各方面と打合せをなし二十五日ハルビンに着任の豫定である

新京キネマの同情週間
二十日から

既報、新京キネマでは年末同情週間として大英斷を以て來る二十日より三日間「國定忠治」外名映畫を揃へて上映し入場料揚高の二割を新京警察署を通じ貧民救濟事業に寄附する事となつた、尙プログラムは片岡千惠藏の演技、稻垣のメガホン、石本のカメラで發表した超黃金篇

「國定忠治」（霽れる赤城の卷完結篇）

數々のロングヒットに耀々たる緋賀の榮譽を擔つて生れた名トリオであり、更に大每東日の連載子母澤寬原作定評あるもの外に杉狂兒……高津愛子ナンセンス映畫

「お前さならば」岡田時彥、伏見直江共演の喜劇「衣嫁花婚再婚記」以上で今回は特に金も平常通として階下六十錢階上八十錢を以て勉强し尙二十一日二十二日の二日間は晝夜興業であると

車輛の事故か
貨物列車顚覆原因

十七日午前零時三十分四平街驛構內で貨物上り列車二輛脫線轉覆事故のため第十三、十五旅客列車遲發延着したのは既報の如くであるが、これが脫線轉覆の原因につきては今なほ調查中で判明せざるも構內でしかも後部車輛の事故であるから多分車輛に事故の原因はあつたのではないかと見られる向もある

氏は縣公署並に領事館警察署に於て乘車證明書の交付を受け停車場構內に於ての防疫官健康診斷の上乘車出來得る樣になつた

△訂正　十八日附夕刊一面外務省辭令「新京總領事」とあるは「南京總領事」の誤植に付き訂正

ラヂオ

十九日（火曜日）新京

午後五時〇分	子供の時間	
五時三〇分	ニュース	（英語）
同　五時四〇分	ニュース	（露語）
同　五時五〇分	ニュース	（鮮語）
同　六時〇分	ニュース	（東京より）
同　六時二〇分	語學講座	講師 高宮盛逸
同　六時四〇分	（滿語）語學講座	講師 植松金枝
同　七時〇分	（日語）演藝	（滿語）
同　七時三〇分	講演	（滿語） 大觀樓 美鈴
同　八時〇分	ニュース	（滿語）
同　八時三〇分	時報	氣象報告、番組豫告（滿語）
同　八時三一分	ニュース	（東京より）
同　八時四五分	ニュース	（東京より） 氣象豫報
同　九時〇分	講演	（奉天より）

引續明日のプログラム豫告

けふの銀相場

鈔票對金票	二三一・五
現大洋對金票	一〇九四五
國幣對金票	一〇九四〇
現大洋對鈔票	九六四二

慶安異聞 艶魔地獄

（舞臺上演 映畫化）　玉水三郎　（畫）長谷川小信

（百二十四）

さゝめ言（三）

茶受けを持つて來た女中は、勝手の下働きと見えて、氣輕に三平に話しかけた。

「植木屋さん、お池は何時出來るんです」

三平は茶を飲みながら、好い機會を得たと許り、

「へイ、明後日の夕方に出來上りますが、二三日水を張つて、あくを抜かないと、鯉も金魚も容れられません。マア此夏はお樂しみです」

「さうですねえ」

「時にお女中さん、私は貴女に一つお伺ひしたい事があるんですが此近所なり又御當家へお出入りのお方の中にでも、三十恰好のお武家樣で丸橋といふ苗字のお方はありますまいか」

「へエー、丸橋」

「お心當りはありませんか、私は御當家の御家來方へ、伺つて見やうと思つてゐましたが、幸ひ貴女とお話しが出來たので伺ひますが……」

「さうですか、さア私はさういふお名の方は知りませんが、一つ御用人へ伺つて上げませうか」

「恐れ入りますね。何うかお序に願ひます……イヽエ今日でなくつても、明後日までに……」

「イヽエ、今丁度御用人も、若徒衆もお茶を飲んでゐてですから、聞いて上げませうよ」

「有難う存じます。實は少し私共の子供がお世話になりましたので、お禮が申したいんですが、何方のお住居か何ういふ御身分のお方か何分子供の事で、判りませんので困つて居ります」

「どんな事か知りませんが、丸橋なんて少い苗字ですから、判るかも知れません」

氣輕足輕に女中は、迎つて勝手の方へ行つた。

其處へ長吉が、顋を吹いて歸つて來た。

「オイ長公、何處へ行つてるんだ。お茶を飲かねえか」

「兄哥、お茶どころぢやねえや。大變な所を見せつけられた」

「アツ、先刻の別嬪を尾けたのかい。好い加減にしろよ。そんな事して若しや誰かに咎められたら、何うする積りだ。親方の名が出るぢやねえか」

「叱られるやうな頓間はしやせんよ。チヤンと茶室の傍へ隱れてゐたんで、若し見咎められたら、私は植木屋です。あんまりお掃除が行届いてゐて、感心しちまつたんで、ちよつくら拜見……と誤魔化す積りで……聞いて居ると、あの美人が金井半兵衛といふ人の膝に凭れて、泣き聲で……明日大阪へお歸しになるといふのに、其前にお手紙一本でのお知らせは、あんまりではございませんか。今日私がお訪ねしなかつたら、貴方は會はずに、此儘御出立なさる御量見でせう。お情ないではありませんか と……」

「粹な聲を出すな」

「何しろ男女は深い仲だ。驚いた濡山吹さ」

「馬鹿な事をするな。もう廢せよ實に迦な眞似は……」

叱つてゐる所へ、先刻の女中は又走つて來た。

「植木屋さん、喜んでお呉れ。判つたよ大概……」

「へイ有難うございます」

「本郷の弓町に道場を開く丸橋忠彌先生が、お齢が三十二三、それぢやないかね」

「へイ、成程」

「其お方なら今茶室にお在の、金井樣の許へ二三度お訪しになつた事があるとさ」

火曜　己未　先勝　危　尾宿

舊十一月三日　十二月十九日

●一白の人　益ありと知れど資力足らず得るに道なき日　乙と辰と亥が吉

●二黑の人　齷齪せず自重して事に當れば希望終に成る　丁と辛と丑が吉

●三碧の人　動作急激にして失敗に歸する日移轉旅行吉　丙と壬と癸が吉

●四綠の人　怠惰は功を奏せず辛勞に耐えて勵むが穩當　乙と辰と子が吉

●五黃の人　確信すれども一應は再考の餘裕を存すべし　丁と庚と戌が吉

●六白の人　運氣は宜しく大望さへ慰ゆれば相應に發達　亥と丑と寅が吉

●七赤の人　苦しき時の經驗は大に役立つ日屈せず進め　申と辛と寅が吉

●八白の人　根氣は福の神にも追付くべし耐忍努力が吉　丁と庚と戌が吉

●九紫の人　發奮は萬事意の如く行はれ進展を來たす日　甲と辰と丙が吉

大阪商船出帆

門司、神戸（大阪）行　×三等船客設備船（午前十時大連出帆）

香港丸　十二月十九日
うすりい丸　十二月廿一日
ばいかる丸　十二月廿三日
×しあとる丸　十二月廿四日
亞米利加丸　十二月廿五日
うらる丸　十二月廿六日
はるびん丸　十二月廿八日
×たこま丸　十二月廿九日

●切符發賣所　滿鐵沿線主要各驛及各地ジヤパンツーリストビユーロー案内所

船車連絡切符（往復切符ハ汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ケ月）

大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符ハ復路運賃二割引通用期間三ケ月）

●專屬荷扱所　各地國際運輸會社支店

大阪商船株式會社　大連支店　電話四一三七番

奉天出張所電話四〇八九番　新京出張所電話二三一六

新京區公示第二十四號

昭和九年四月新京幼稚園ニ入園希望者ハ左記了知ノ上昭和九年二月十日迄ニ戸籍謄本又ハ同抄本添付本所ニ願出スヘシ

追テ願書用紙ハ當所地方係ニ於テ交付ス

昭和八年十二月十六日　南滿洲鐵道株式會社　新京地方事務所長　荒木章

記

一、園兒ハ昭和三年四月二日ヨリ昭和四年四月一日間ニ出生シタル者　但シ定員ニ滿タサル時ハ昭和五年四月二日迄ノ出生者ヲシテ選衡入園セシムルコトアルヘシ

一、入園希望者多数ナル場合ハ年齢順ニ年齢同シキ場合ハ願出順ニ入園ヲ許可ス

一、トラホーム幼兒及身體檢査不合格ノ者ハ入園ヲ許サス

一、眼疾檢査及身体檢査施行日時場所等ハ追テ通知ス

新京區公示第二二號

新京西部附屬地町名、地番左記圖示ノ通リ制定シ昭和八年十二月一日ヨリ實施ス

昭和八年十二月十五日　南滿洲鐵道株式會社　新京地方事務所長　荒木章

記

圖面（省略）　但シ實際圖面ハ新京地方事務所前揭示場ニ揭示ス

范家屯區公示第十六號

昭和九年四月（昭和二年四月二日、昭和三年四月一日間ニ出生シタル者）學齡ニ達シ新京寬城町尋常高等小學校范家屯分教場尋常科第一學年ニ入學スヘキ兒童ハ昭和九年一月二十日迄ニ戸籍謄本又ハ戸籍抄本及種痘證明書ヲ添付當范家屯派出所ニ屆出テラルヘシ

追テ入學屆用紙ハ當范家屯派出所ニ於テ交付ス

昭和八年十二月十六日　南滿洲鐵道株式會社　新京地方事務所長　荒木章

新京區公示第二十三號

昭和九年四月（昭和二年四月二日三年四月一日間ニ出生シタルモノ）學齡ニ達シ新京寬城町尋常高等小學校又ハ新京西廣場尋常小學校尋常科第一學年ニ入學スヘキ兒童ハ昭和九年一月二十日迄ニ戸籍謄本又ハ戸籍抄本及種痘證明書ヲ添付當所ニ屆出テラルヘシ

追テ入學屆用紙ハ當地方係ニ於テ交付ス

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

議會愈よ目睫に 貴衆兩院の雲ゆき
政黨聯合の空氣漸次濃厚で 各黨愼重に考慮

來る議會に對する 衆議院各派の態度

(東京十八日發國通)議會召集日の切迫に伴ひ、政、民兩黨では共に廿二日、國民同盟は廿一日、夫々議員總會を開き、議會に臨む陣容を整へ、對策を講ずることになつたが、來議會に對する各黨の態度左の如し

大物總動員で政府に肉迫か 統制第一の政友會

政友會では來る議會に於て農村問題を中心として相當政府に肉迫する形勢であるが、黨の情勢は其の統制上少なからず憂慮すべき狀態にあるので政友會院內總務の人選は、黨內統制を目標とし、大物總出動の陣容を以て臨む方針で、目下愼重人選中で統制第一主義を以て臨む方針である、一方政友會政務調査會では內政關係の諸問題に就て調査研究を重ねて居たが

一、地方制度改革
二、時局匡救事業
三、司法制度の統一
四、選擧法の改正
五、教育制度の改革

の各項目につき成案あるに至つたので、來る廿一日の政務調査總會に附議承認を求め黨議として決定する事になつた

成りゆき次第では 若槻男も起つ 民政黨は政府支持

民政黨では年內の議會に於ては突發事件發生せざる限り全院委員長、各常任委員長及委員部屬等の決定のみで休會となる關係上さしたる問題は起らないが、休會明け劈頭の議會から直ちに國務大臣の施政方針演說及政府提出の豫算案各種要求に關する審議が續行されるので、其の場合に於ては財政經濟金融問題、農村問題、外交問題、國防問題、選擧法改正問題、言論の自由擁護及社會不安一掃其他之に關連する問題、司法、教育問題滿鐵改組問題等々の問題に對し黨員が夫々分擔して質問する筈であるが、此の外陸海軍兩當局より屢に發表せる軍民離間聲明に就ては社會に及ぼす影響は極めて重大なるをもつて、相當突込んだ質問をしたいとの希望者が數人あるをもつて愼重な態度で質問をなさしめる方針である、又海軍第二次補充計畫が豫算審議に關連して問題化し、其結果ロンドン海軍條約の可否問題にまで進展し、政治的に重大化する場合は該條約締結の責任者たる若槻總裁自ら貴族院の陣頭に起ち、事實の眞相を明白にする筈である、更に民政黨では、現內閣成立の精神に鑑み政府を支持し無事議會を乘切るため最善の努力を拂ふは勿論であるとなしてゐるが農村對策に就ては政府を鞭撻する態度に出づる模樣である、尙既に今日より政民提携乃至は聯合運動の空氣が漸次濃厚となりつゝあり、休會明け議會後に於ては一層此の運動が表面化する可能性あるを以て其際は町田、川崎兩氏を中心に富田、俵、櫻內、賴母木等諸氏が夫々折衝役を引受け、政友會側と往來を重ねる事になるが、此の成行き如何は政局の將來に極めて重大な影響を與へるものとして對議會策と同樣愼重考慮中である

純野黨の 國民同盟

國民同盟はあくまで野黨の立場に於て徹底した論議と行動に出づ可く、種々考究中で大体山道襄一、中野正剛兩氏を第一陣頭に立て政府に肉迫せしめんとしてゐる、而してその主力を[illegible]んとする所は農村更生策で現內閣不信任案を提出し潔く一戰を交へたがよいとの意見も黨內にある

突込んだ質問戰で 政府を鞭撻せん
貴院各派の對議會策

(東京十八日發國通)第六十五議會召集日も切迫したので貴院各派でも夫々對議會策を練つてゐるが、同院の大勢は齋藤內閣の無氣力に對しては可なりの不滿を持してゐるが齋藤內閣に代る後繼者無きため彈劾の擧に出ることを愼み政府を鞭撻督勵して行くといふ方針を執るであらうが、併し今回の議會は財政の確立に關する前議會の決議案に對し政府は多少考慮を拂つてゐるけれども未だ貴族院の要求するが如き徹底した對策はなく又農村問題に對する方策を始め時局匡救其他の方策は不徹底であり、社會人心の不安一掃に就ての施設の如きも見るべきものなく、思想教育其他に就ても刷新すべきものあるに拘らず、政府はこの重大時局を擔當しながら一向見るべき施設無きため、今回の議會に於ては相當突込んだ質問が行はるゝ模樣で、國防、財政、教育、社會不安、農村對策、外交其他の諸問題に關しては夫々專門家に於て調査研究を重ね、質問準備をしてゐるから、本會議、豫算總會に於ては痛烈な質問戰により政府を鞭撻督勵して齋藤首相の奮起を促すこととならう

岡田代表一行 ロンドンへ

(ヘーグ十七日發國通)日蘭綿業問題に關してオランダ當業者と會談を行つた岡田源太郎氏一行の我が綿業代表は十七日午後ヘーグを出發ロンドンへ歸還した

日印會商經過と 今後の折衝で
外務省意見を發表

(東京十八日發國通)日印會商の經過及び今後の折衝に關し、十八日外務當局は左の如き公式意見を發表した

今日迄の折衝によつて完全に意見の一致を見たる諸點は次の如くである

一、現行綿布關稅七割五分を五割に引下げる事
一、綿布の輸出は棉花輸入數量に關聯せしめ綿布輸出最高量を四億碼とす
一、綿布輸出と棉花の買付の關聯比率を棉花買付基準量を百萬俵としてそれを上下する、但し我國より輸入した綿布を他に再輸出する場合その數量は除外する
一、綿布輸入の品種別割當率は生地四十五パーセント、晒八パーセント、染付生地十三パーセント、加工綿布三十四パーセント、伯し割當の融通率は未決定
一、日本綿布に印棉の輸出入季節割當は一年を二期に分ち價格割當量の五分を次期に融通し得ることを認む
一、日本雜貨については從量稅を適用し最惠國待遇を均霑せしめる
一、近く獨立するビルマに對する綿布の輸出は公定數量より除外すること、人絹並に交織物は輸出入割當協定より除外すること
一、障害の關稅引上に關しては日印兩代表が取極めに當ること

而して未解決の點は綿布品種別割當量の融通率と爲替の變動に伴ふ關稅改正に關する事項であるが、前者に關しては九日の澤田、ボーア兩代表の私的會見でボーア代表が晒の融通率を九分六厘迄承認せる旨表示したにも拘はらず十八日澤田代表よりの公電によれば、ボーア長官はその後印度政府の反對により一應撤回するの已むなきに至つた旨通告し來つた、一方爲替條項に關しては當初日本側より圓爲替が二割以上騰貴し、その狀態が三ヶ月以上續く場合に非ずんば關稅改正をなさざることの提案をなしたところ、ボーア長官は爲替變動が一分の程度に於てならば、關稅改正をなさないことを保障したが、かゝる大幅の變動についてまでも改正せずその保障を與へるは不可能なりと述べた

錦縣の棉花栽培 頗る好成績

(錦州十八日發國通)錦縣公署では農家の利益を計るため棉花栽培を獎勵し、大同三年度に於て大々的實現を期すべく目下計畫中である同縣の棉花栽培狀況は事變前約八百天地產額八十萬斤に過ぎなかつたが、本年六月棉花協會錦縣支部を設立し、日本人指導者を招聘し耕作の改良を行つた結果、現在では耕作地千五百天地に倍增し、今秋の收穫は四十八萬斤、價格十三萬五千圓に達し、縣內產物の主要位置を占めるに至つた、縣公署では此の好成績に鑑み、更に增殖を計畫し大同二年度に於ては縣下の實地調査を行ひ各部落周圍五百米鐵道沿線兩側五百米合計約八千四百天地を棉花耕作地たらしめ併せて治安維持の萬全を期すると共に農家經濟の發展を期する筈で來秋の收穫は百萬圓以上と豫想されてゐる

警備費を支出 木材同業組合

馬賊、匪團への貢物によつて伐木の保護をしてゐた吉林木材同業組合では、既報の通り省內の掃匪も無事終つたので今後吉林警備司令部によつて警備の萬全を期することとなり、經費五萬元の中二萬元の警備費支出につき考慮中であつたが、いよいよ警備司令部の要求を容れて、第一期分として八千圓(一人當り二圓)を納めた

日滿人を含む 滿洲山林會を設立
近く創立總會を開く

大同林業公司設立に當り、特務部から當業者に何等の諮問もなかつたのは、木材同業組合と云ふ弱小な團体であつたからであるとの見地により、新京木材同業組合彼末氏が中心となつて日滿人を包含する滿洲山林會を設立することとなり、近く創立總會を開催、明年度から創立すべく準備を進めてゐるが、この山林會は日滿官民を會員とし、林業開發事業を行ひ、對外的にも權威を有し、會長には滿洲國政府要人を迎へんとするもので總會員五千名以上に達し、內地に於ける山林會に對抗する大規模な團体で、將來樺太材との市場競爭、樺太材の滿洲國輸入阻止等の目的を有してゐる

現地案の 修正程度で
圓滿解決の豫想

滿鐵改組案は十八日半井一等主計の東京着と共に、愈よ中央の舞台に登場することになつたが、林滿鐵總裁が、東上の途中「滿鐵と軍の意見が完全に一致したと云ふのは虛報である」と發言俄然大センセーションを捲き起したが、この滿鐵總裁の言は、滿鐵株の價格變動防止と、株主總會に於ける自己の立場を考慮した結果で一部では拓務大臣からの「指令」に基くものであるとの說もある、又永井拓相の聲明書についでは現地案が關東軍特務部の統制下に入り、その持株會社が、關東軍司令官の監督下に置かれることに關し同相は「少くとも經濟機關を軍の統制下におかたり、關東軍司令官が監督することは間違つてゐる、先づ滿鐵を中心として改組すべきである」とこの意見から出たもので、その間滿洲に於て、滿鐵を中心として拓務省の權限を擴大せんとの意志が存することは明らかである然し關東軍の肚は「滿鐵」改組は一九三五年六年の弧立日本の危機を乘り切るため滿洲國に於ける我國前線陣戰地の經濟國防策から出發したもので非常に大乘的な案であるため元來なれば、軍から現地案を拓務省に提出して拓務省から議會に提出する方法をとるべきであるが今回は軍部として、重大なる決意のもとに立案したものであるから、議會にも軍からとして提出する方法を採ることとなつた模樣である、兎まれ三者三樣の說を繞つて幾分の迂餘曲折はあつても結局現地案の修正程度で解決するものと觀られてゐる

中央、福建兩軍の 距離愈よ接近
だが掛聲ばかりで進展せぬ

(福州十八日發國通)掛聲ばかりで一向進展を見せなかつた中央軍と福建軍の軍事行動は最近延平、建甌間に於て幾分緊張し來れるものゝ如く江山縣來電に依れば建甌に在る中央軍と延平より進軍せる福建軍先鋒との距離は三十支里の近きに迫つた、福建軍は共產軍三千を先頭に立て中央軍突破の機を覗ひ十七日第二軍長蔣鼎文は全線を視察し手兵に對し中央部を建甌にて迎擊すべく準備を進めしめて居るが兩軍の志氣一向に振はず大規模の衝突はないものと觀られてゐる

福建獨立運動と 「米紙の所論」

十八日積當地某所着情報によれば福建獨立運動勃發に對し米國諸新聞は夫々在支特派員の電報を揭げその成行きに對し相當詳細に報道して居るが大体に於て原因としては蔣介石の獨裁主義及南京政府が日本に屈服せる「事實」に嫌らぬ政客が十九路軍を抱き込み行動を起したるものなりとして「十九路軍の加擔はその實力及反日的傾向に鑑み特に重要視さる」となし赤軍との關係に就いては相當の根據あることを認め、アテンド紙は十九路軍中には赤軍將士多數編入し居れること延平その他の都市は共產黨員の出入自由となれること、沿岸都市には共產黨擁護のポスターが盛んに現はれて居ること等と詳細に報じて居る。將來の見込みとしては蔣介石の爆擊實行等の態度よりして兩派の戰鬪は免れざるべしとの見方、廣東側の日和見なることに及び汪精衞の態度等に鑑み結局廣東側は南京政府の改造及び「各派」の要求を容れたる憲法大綱ありその他關稅、鹽務處銀行等の接收問題、南京支付の外人避難勸告又は第三艦隊の南下等を報ずるものあるも未だ注意を惹くに至らず、南京側海軍の沿岸封鎖に對し各國は自國船舶の臨檢に反對するも戰時禁制品を積まざる樣船會社に勸告すべしとし、日本も同樣の態度にて先例に從ふべしと報じて居る、又本運動が臺灣の對岸に起れること共產派と連繫あること及び反日を目標とせることは日本の干涉を誘致する惧れある旨時折報ぜられるも本運動の背後に日本ありと言ふが如き說は傳へられず

直木國道局長 就任の挨拶

前[illegible]局長[illegible]根壽吉氏後任直木倫太郎博士は十八日市內の各方面を歷訪挨拶した

滿洲國辭令

任濱江縣參事官(薦任七等) 植田正秋
財政部事務官 加世田成法
松崎健吉
敍薦任六等(各通) 沙露楷
任民政部事務官(薦任八等) 金子昌治
宮島繁豐
安井舜志
伊野滿壽美
民政部總務司勤務を命ず
任吉林公署屬官(委任二等) 吉林公署總務廳勤務を命ず(各通) 小田貢
任黑龍江省公署屬官(委任二等) 黑龍江省公署總務廳勤務を命ず 安藤道夫
任綏濱縣屬官(委任二等) 高野藤吉郎
任湯原縣屬官(委任一等)

茶話

小磯參謀長は十七日朝の名古屋ホテルの火事で早朝五時に追ひ出され寒い風に吹かれて漸く夜九時廿五分に歸京した

○…○

第四課の宮脇少佐或る日新京白貨店を覗いてゐると同僚の一人に「オイあんな子供服を見ると內地の子供のことを思ひ出さないか」と云はれてサテ自分の子供の顏を思ひ出さうとしたが一体どんな顏だつたかなあと考へて見たが突嗟に思ひ出せない 卿「何に戰時中とは云へ僅か二年見ないと子供の顏を忘れるなんて俺も不貞なパパぢやわい」と自問自答して感慨無量だつたと

天氣と氣溫

十八日氣溫最高零下九度七・最低同十五度七・十九日の天氣北西の風晴れ

お正月用品どん／＼入荷
まづ熊本産の野菜を皮切に 各商店の仕入開始

正月が近付いて各商店とも正月用品の仕入れを開始したが先づ正月用品の白眉としては昨年初めて新京に姿を現して多大の好評を博し、二百鉢余り出た福壽草、松竹梅の

『鉢物』で、これは今年は五百鉢位出る見込みで、値段は大鉢一個連貸請掛共六圓位となり、松竹梅だけの小鉢は三圓位、次いで根曳き松は愛玩用として百本位の入荷豫定、値段はまちくで一定せぬが高いものは十二、三圓から安くて二、三圓位、食料品の中くわい、數の子、黑豆、ごまめ、昆布等は昨年約五千七百圓位の入荷であつたが、今年は一萬圓以上入荷する豫定である、人蔘、水菜、牛蒡等の野菜は熊本産品が早くも入荷を初め、今年は昨年の

『二倍』で總金額八千圓位の豫定、その他門松、門松用の梅や竹の枝等があるので正月用品は全部で三萬圓近いものが新京に輸入されるわけであるのところは二十圓から三十圓までのもので、よいものは花柳界方面よりか普通の家庭に多く出るのではないかと思ひますがやはりこれはその店その店の客すぢがありますから一概には申されません

新春の流行に聽く
洋服に着物にどんなもの？
値段もいろ／＼

內地よりもかへつて流行の尖端をゆくといはれてゐる殖民地の服裝―新京における三四年新春のショーウインドを飾る男子の洋服地、女の着物地帶地はさてどんなものでせう

佐藤洋服店談　合服の見本がまだ來てをりませんのでどんな新柄があるかよく判りませんがやはり來年もねずみ色が多く出ると思ひます値段は本年の春より生地が少し上つてゐるのと關税の關係もあつて幾分高いと思ひますがまあ普通五、六十圓程度のものでせう、昨年の暮から本年の中ごろまではよく賣れましたが月給どりの方もあれで一通りは揃へられたと思はれますし、最近內地から就職された方は殆んど持つてをられるやうですから來年の注文はあまりあてになりません今年の冬もその關係で昨年の冬よりかうんと注文が少いやうです

佐藤吳服店主　佐藤看一氏談　新京は別に春衣といふ譯でなく年內に殆んど調へてをかれるやうです、內地と異つて一月の下旬からはもうセルの注文がごし／＼あるのですから來月の上旬に內地の問屋に行きまして月末には店頭へ出します來春のセルは相當變つたものがあるやうでこれまでのやうに織り放しのものではなくかなりこつてゐるやうです男ものでも隨分變つたものがあるやうです、値段は男もので十圓內外、女もので十二、三圓どころが普通で昨年と大差はありますまい、袷もの、生地や帶地は格別變つたものはないやうですから本年通り彩美織と御幸織、帶地では名古屋帶が多く出ると思ひます人口の增加にもよるのでせうがこの暮は去年の暮よりずつと多く賣れてをります、値段

歳末の石炭配達
註文書に注意

新京における人口の激增駐屯部隊の增加から見て本年々末始の需要炭增加を豫想した新京販賣事務所では石炭の運搬配達を左記により備鐵社員及び軍隊用石炭を配達すること

一、二十三日午後四時まで新京販賣事務所に注文書を提出しその注文書に年內配達の旨記載のものに限り年內に配達す

一、二十四日午後四時以後受附の分は明年度配達の分とする

一、新年配達日は三十一日（日曜）全休、一日全休、二日半休、三日全休、四日半休、五日全休、六日から平常通り配達する

もとの舊巢へ
ハルビンに榮轉の 原少佐のはなし

新京附屬地憲兵分隊長原少佐は今回ハルビン憲兵隊本部特高課長に榮轉、後任には現大連分隊長岸武夫大尉が內定してゐる、尚現ハルビン特高課長飯島滿治少佐は大連分隊長に轉ずる

『模樣』で、原少佐はシベリア出兵時代よりチタ、滿洲里の特務機關附として活躍し、歸國後東京外語ロシア語科を卒業、再度來滿してハルビン特務機關附に轉じ、現在に至つたもので、分隊在任中は蔣介石密偵の新京を中心とする諜報網を一網打盡に逮捕した他その敏腕を謳はれて居り近時北滿に於る赤色分子の斷末魔的暗躍が續けられてゐる。

『折柄』同氏の就任は各方面より刮目されてゐる、尚同少佐を訪へば語る

早いねえ、まだ內命の程度だから何とも云へぬが、新京には約十ケ月ばかりでまたもとの古巢へ歸るのだが向ふへ行つてからはうんと勉強する積りだ、赴任の時日はまだ分らない、云々

遭難の鵬海丸
絶望視さる

〔大連十八日發國通〕去る十五日午後三時星ケ浦方面に出漁したまゝ行衛不明となつた鵬海丸（船長山本重松外乘組員四名）はその後搜索船を出して海上搜査中であるが、未だ發見するに至らず乘組員の生命は絶望視されるに至つた、當時は雪を交へた猛烈な北風が吹いてゐた處から或は山東方面に漂流してゐるのではないかと水上署は芝罘威海衛等の官憲に搜査方手配した

小荷物着代辨處
通關取扱

小荷物着代辨處通關取扱方は一月一日から左の諸驛で實施される

清津驛、會寧驛、南陽驛及び雄基驛

の各驛着輪移入手續未濟の小手荷物にこれを適用される、なほ着驛においては税關と協定した時刻に驛係員を立會せしめて荷物の檢査をなし、檢査荷物の解裝、及び復裝は總て無料で各普通でこれを行ひ檢査のため解裝した荷物は復裝の上着驛係員において樣式の封紙を貼付し税關史立會の上驛印及び税印と押捺の上通關するものである

本紙の記事を讀んで 感激の同情金
歳末の同情週間に寄せて
ある商業生の美擧

新京地方事務所、滿洲社會事業協會の主催で去る十四日から同情週間を催し市內の貧困者に對して溫い同情金を寄すべく企てられたが一般市民有志、兒童達から寄せられた同情金は十八日社會係受附（各警察官吏派出所）の分でも百八十圓を突破の見込（午後四時調査中）で中には既報の如き餅米三俵興行揚げ高二割寄附てふ大ものもあるが十八日社會係で開封した茶色の封筒の中に金一圓二十錢を左の樣な手紙を添へて同情週間に寄附した無名の人がある

拜啓私ハ昨日新京日日ノ中ニ出テオリマシタ記事ヲ讀ンデ感激シタモノノ一人デアリマス、コノ金ハホンノ些少デアリマスガ本月ノ雜誌代ヲ母カラ頂イタノデスカラドウカ新京ニオラレル困ツタカニアゲラレル金ノ一部ニ加ヘテ下サイオ願ヒ致シマス

新京商業二年生乙

感激シタ者ヨリ

係ノ御方樣へ

（原文）

右は多分警察官吏派出所へ數日前投函されたものであらう

同情袋の 封緘に御注意

皆さんが切角ごし／＼同情週間に寄せられる同情金は多數の金額に上つておりますが數多い中には袋の封がしめて無いためお金が外へ出て整理に困るものがあるので投函なさる前に金額住所氏名（無名にても可）明記の上封じてお届け下さる樣にと社會係でいつてゐる

歳末の 同情金
續々集まる

新京署保安係の貧困救濟會へ續々と救濟金品が屆けられる

十八日新京日本橋通科野洋行代表者淺井庄一郎氏は白米十俵を寄附した、その他

▲朝日通十七番地井上勝信氏は糯米一俵を寄附

▲市內一少女と記し貧困者に同情した意味の手紙をそへ金一圓を寄附して來た

税關吏の 新規採用者
講習會

滿洲國財政部では税關吏の素質向上を圖るため全滿税關新規採用者の長期講習を行ふこととなり、來月五日より二個月間大連税關に於て第一回講習會を開催する、講習者は五十名の豫定である

名士の漫談（十一）
行くところ 女と酒が先廻り
東拓新京支店長 渡邊得司郎氏

記者「滿洲景氣も本年の中頃を分水嶺として稍々顏を背けたかたちにあるのではないかといふ人もあるやうですがどうでせうか」

渡邊氏「滿洲景氣といふのは普通の景氣とは多少趣を異にしてゐると思ひますが下り坂ではないでせう、自分はまだ上、坂と思ひます」

記者「色町方面の景氣はすばらしいやうに思はれますが行くところ酒と女の先廻りしてゐないところはありませんね」

渡邊氏「不甲斐ないことですね、飲んだり喰つたり色をあさる方面ばかり發展して堅實な商店街が更に發展しないのですから」

記者「新京は住むのにはどうですか」

渡邊氏「感心しませんね、周圍の色々な事情がさせるのでもありませうがどうもここは知人が出來難いので遊びに行くところもなく夜分なんかほんとに困りますよ」

記者「碁とか麻雀とかやられませんか」

渡邊氏「碁はやるのはやるが下手でものになりません然し毎晩やつてはおります」

記者「それは結構ですね、どこかへ出かけられますか」

渡邊氏「本を相手に家で一人で打つてゐるのだから面白いことはありませんよ」

記者「それはどうかと思ひますね、お酒や煙草はどうです」

渡邊氏「煙草は大變好きなのですが一年くらひ前からやめております、酒はどうもやめられませんね」

記者「煙草はどうしてやめられました」

渡邊氏「人間何か一つくらひは節制しませんとね」

記者「これもつらひ話ですね酒は隨分高いやうですが」

渡邊氏「地酒で結構ですよ、私はずつと地酒をやつてをりますが別に惡いとは思ひません地酒にもよいのがありますからね」

秘境熱河の 考古學的踏査
鳥居博士の大收獲

本年八月夫人、令孃を同伴秘境熱河に考古學的踏査を試みた文學博士鳥居龍藏氏は十八日午前七時新京に到着大和ホテルに投宿したが、同氏は踏査の際林西よりウジムチンに通ずる道路の興安嶺の麓にあるワールマンハの遼時代の古墳を二週間に亘り調査した、同古墳は民國の最初に佛人が始めて發掘し湯玉麟がその後發掘を試み、鳥居博士は昭和六年に三度目の發掘調査を行つたもので今回の發掘に依つて博士の遼時代の研究は大体一段落を告げ歸國後は直ちに學界に發表されるが學界の一大收獲とみられて居る、尚前記の古墳は今より約千年以前のもので古墳の中は黃檀を以て見事な家屋を型造り更に壁畫もある素晴らしいものである

秋永少佐 離京

滿鐵改組に關し關東軍と連絡のため中央より派遣された秋永少佐は十八日午後四時半多田少將、原田第二課長、沼田中佐等の見送りを受け安奉線經由歸朝の途に就いた、同少佐は出發に先立ち

何も感想はないよ、東京で異論があるかどうかは知らぬ

とのみ、口を緘して語らなかつたが小磯參謀長の意向を中央に傳へるとの使命を帶びるものゝ如くである

夏城子に匪賊
大損害を與へ擊退
ボグラ路警所よりの情報

北鐵東部線ボグラ驛路警所よりの當地着情報によれば去る十五日午後四時頃夏城子驛東方八支里地點に約百名の匪賊が附近の部落を掠奪しつゝありとの報に夏城驛警備第七旅は一ケ連の部隊を討伐に出發せしめた結果同午後四時三十分より約六時間に亘り交戰の末匪賊三名を斃し、十七名を捕虜とした他小銃十九、馬四十頭を捕獲した、我方の損害は戰死將校一、兵一、負傷兵四名である

滿洲國新廳舍竣工
續々移轉開始

滿洲國新廳舍も愈よ竣工したので、財政部、專賣公署及び吉黑榷運署は二十一日より新廳舍に移轉する

母の愛を以て
蒙古人を指導せよ
興安總署依田新次長語る

新興安總署次長依田少將は今明日中に初登廳をなし、菊竹前次長と事務引繼ぎを爲す筈であるが、宿舍國都ホテルで新任の感想を語る

興安省統治に關しては自分は全然白紙であるが蒙古人は老ひたる子供といふ感じのする民族で、之を善導するには母の愛をもつてする事が必要だ、先づ文化的指導によつて文化人としてのレベルを高め、然る後政治的指導を行ふが自然であると思ふ、菊竹前次長始め蒙古行政に經驗ある先覺の意見を充分承り、自分の對策を練る考である、日滿國民の絶大な御支援を切望してやまぬ

菊竹次長 辭任
正式許可さる

建國以來興安總署次長として蒙古統治に功勞あつた菊竹實藏氏は一身上の都合により曩て辭表提出中であつたが十八日の閣議に於て正式に許可され、その後任として滿洲事變當時依田旅團長として赫々たる武勳を輝かした豫備陸軍少將依田四郎氏が任命された、尚依田新次長は今明日中初登廳し菊竹前次長と事務引繼ぎを行ふ筈

修警察總監 巡閲終る

修首部警察總監は十一月二十七日から五日間に亘り市內警察署の本年度巡閲を行ひ引續き十二月五日から十四日まで每司警正以下隨行員を從へ地方各警察署の巡閲を行つたが管下の狀況について語る

今回の地方巡閲は各分所に至るまで預閲したほか特に縣境僻陬地における住民の實狀をも視察し各地に於て鄉村長有力者自警團等に會し建國精神を認識せしめ併せて王道を鼓吹し、或は治安維持に關する對策を指示する等極めて有効的に終了したが、各署共人員裝備等に於て未だ完全を期し得ざるも署長以下實に獻身的に警察務の執行に當つてをり又關係各機關との連絡も概ね確保してその成績は概ね良好であつた、殊に治安狀況は、日本軍隊遊動警察隊等の援助により縣境地方にあつても最近に於ては大なる匪害の發生なく集團匪賊は影を沒し一般住民は其堵に安んじ生業に勵んでゐたので愉快に感じた、今後の地方警察の充實に付ては目下鋭意計畫を進めつつあり實施の曉には益々警察機能を發揮し治安の完璧を期し管下住民の信賴に背かないと確信してゐる

盛んになつた 兵士の出迎へ
市民への警鐘奏効

帝國在鄉軍人會新京聯合分會では、さきに市民に對し新京驛發着の兵士歡送迎に關し、覺醒を促し、檄を飛ばしたがそのためか十五日、十六日共遺骨送迎や、兵士の歡送迎に寒風に吹かれ乍ら驛構內にまで出て盛大に迎へた市民に對し頗る感激し、今後共斯の如き歡送迎をして、我將士の行を壯んにしてもらひたい、兵士發着の時間は出來るだけ周知する樣通知するからと語つてゐた

十一月中外國人の 入國查證統計
外交部通商司調べ

十一月中旅券查證を受けたものは大連の一九七名を筆頭とし山海關一〇一名安東九〇名滿洲里六〇名駐日公使館二一名營口一九名綏芬河八名圖們四名計五〇〇名で內男子三三七名女一六三名である

國籍別　米國人七三名英國人七〇名蘇聯人五〇名獨逸三六名波蘭一五名リトビア一四名佛國一三名等が主なるもので無國籍人が一八一名あり數に於ては依然多數を占めて居る

職業別　商人の一六八名が絶對多數で外交官三一名宣敎師二〇名技士二一名醫師九名學生八名敎員及銀行家各六名外國官吏及新聞記者各五名が主なるものである

學校の暑中休暇等の關係もあり八月中の查證受理數一〇〇四を最高とし最近漸減を示しつゝある、是は季節の關係でもあるが他方無職者の入國が減少せることも其一因である、右の外十一月中滿洲里及綏芬河經由蘇聯側より逃亡し入國せる者六、七名あり又一旦入國したもので送還した者が一名ある

開魯方面に 又復ペスト

興安西分省警察局より民政部衞生司への報告によれば、去る八日開魯東門外に於て又復ペスト發生し、滿人一名は直ちに死亡した、尚傳染系統は不明たるも城內一般に嚴重消毒檢疫を行ひ通行を禁止し傳播を防いでゐる

滿電マーケット 成績良好

滿電マーケットは初日以來頗る成績良く、第一日七百二十四圓六十二錢、第二日千二十圓四十九錢、第三日千二百八十二圓七十錢、計三千二十七圓八十一錢で、一日平均千圓以上の賣上げあり、十日間の期間中には一萬三千圓位賣上げるぞと意氣込んでゐる、尚賣れる品はラヂオ、電氣スタンド等の高級品がある、市民の懐具合は決して惡くはないらしいと

居住消息

△服部伊勢松氏（朝鮮總督府事務官、滿洲派遣所勤務）十六日着任中央ホテルに投宿してゐたが十七日千鳥町七丁目一番地に居住した

▲岡田誠矣氏（島根縣）蘇家屯から三笠町一丁目十四番地へ

▲岩城武夫氏（和歌山縣）大連から高砂町四丁目二番へ

△井之上理吉氏（新京署保安主任）十七日曙町一丁目一番地四號官舍に

轉居

▲加藤隆行氏　中央通り二十二番地局官舍から東一條通り三十五番地局官舍へ

▲富停市氏　永樂町一丁目四番地から公主嶺大同電氣株式會社內へ

▲辰巳新一氏　彌生町二丁目一番地から入船町二丁目五番地田中方へ

▲美馬善太郎氏　東二條通り二十七番地から入船町二丁目一番地へ

▲藤井逸治氏　常磐町二丁目十八番地ノ二から清津へ

▲日出町二丁目十四番地後藤梅子さん長男滿洲男さん、十六日午後一時死亡

▲日本橋通り八十四番地久木野フジ子さん、十六日午前八時三十五分死亡

讀者から（投書歡迎）

水道係の釋明を求む

受難者

餘りにも荒れつ子になつた新京水道の斷水には我慢するにもせんにも餘りの事に訴へ樣もない只當局の不誠意を憤慨して止むのみ矣、去る日曜日（十二日）等の斷水と來ては全く言語道斷、朝方濁水を遠慮なく送水し、今迄の溜水を

ゐた正午の送水は之亦濁水をバケツ一杯位（習情）出して而かも夕方まで依然として出ない、何と云ふ無責任な、無誠意な、腹立たしさよ、尚ほ日曜日なるが故に來客の準備もせなければならぬ處もあるそれさへ出來ない、年末が案じられる、戰國時代の庶民の心情も斯くやと想像される尤も新京となつて以來の水量不足の點は萬々承知もし、同情もしてゐる、然し餘りにも當局の不誠意なのを詰るのである、今少し責任感を持ち技術的方面に研究すれば斯くも不仕鱈な事はあるまい、而か

紙上等に於ては堂々と其の仕事を誇張し、紙上をのみ見れば疾つくに新京の斷水は解消して居る筈だが所謂中央通以西在住者等には一向解消處か舊態依然たる者である、一日中、朝、晝、晩の申譯的送水をし乍ら、而かも水道料は斷水時代以前より高價を差引いてゐる、斷水を連續して而かも其の料金が以前より增額される世の中に這麼な不合理な事が又と有らうか、而かも新聞紙上では人口增加の爲めにかくくの料金增收ありとか麗々しくもよくそんなる事が云へたものだ

道タンクを幾ら增築しても吾々日常生活にさへ事欠ぐ者から見れば全く其の無謀さに呆れる、仰々しき偸安的、斷水解消論などの誇張辭を述べうる以前に最少限度の生活に不安を感ぜぬ程度に研究し設備し以て當局者の誠意の有る處を示して貰ひ度い、限り有る水量を抱へて各學校にスケートリンクを作らんとしてゐる、勿論兒童小供の保健運動に付いては論ずる必要もないが之とて實行より宣傳の方が過ぎてはゐないか、畫餅に終らざれば幸甚と思ふ

ラヂオ講座（十五）

新京放送局長　加藤誠之

次に一つ丈光が消えてゐるならば一應眞空管を拔いて挿し直して頂きますい若し同じ型が他にあるならば是と取替えて見ます、それは往々接觸不良の爲に光がつかないことがあるからであります

若し取替えても尚其の球に光がつかない時はフヰラメントが切れてゐるのですから新しい球と取替える必要があります。眞空管に異狀がなくて尚音が出ない時は先づアンテナとアースの接續個所を締め直して頂きます、一番起り易い故障は足で床が動いたりセツトを動かしたりした爲に此の接觸が不良になるのであります、尚接觸不良の一つに眞空管の足の接觸が不良になつてゐる場合がありますから、一度スヰツチを切つて眞空管を挿し直して頂きます

是以上の故障ですと素人の方に弄つて頂いて却て危險がありますから當方に電話して頂くか又はラヂオ屋さんにお願ひされる方が好しいと思ひます

（二）雜音と其の處置

雜音の原因は次の通りであります

一、空電
二、送信機から出る雜音
三、電動機から出る雜音
四、電話信號
五、無線電信電話
六、電氣治療器
七、自己受信機
八、其の他各種の電氣設備

且の中受信機で發生するもので故障に依るものは修理される必要があり、調整に依るものは出ない樣に調整を取られる必要があります

空電に依るものは本電の所で申上けました樣に簡單に取ることが出來ません、其の他の電氣機械器具に依るものは或るものは除くことが出來ますが、或るものは出來ませんからお困りの場合は局の方にお話願つて私共の方で除去方を研究させて頂きます

（ホ）混信分離

受信機の所で申上げる筈でございましたが、茲で混信分離の事を申上げます、先般から二三新京局が出來たら今迄聞えてゐた日本の局が聞えなくなつたと云ふお話でありましたが今迄日本の各局が分離して聞こえたものが當局が出來たために全然聞えなくなると云ふ事は先づありませんそれは波長を一番端の邪魔にならぬ所に選んだからであります、勿論强度が强いのですから附近の局が妨害することはむを得ないとお考願ひ度いのでございます。若し新京丈しか聞えなくなつたやうな場合には或は空中線回路の整調方法の變えるとか短い空中線に直すとか、分離性を增す方法がありますから一應局の方へ御通知願ひ度いものと思ひます

匪賊の大頭目殿臣が山奥に埋めた五百萬圓

好奇の眼一齊に注がる

（吉林十七日發國通）匪賊の大頭目殿臣が時價五百萬元に相當する貴金屬を郷里の山奥に埋めてゐるといふ近頃愉快なニユースがある、去る十月下旬皇軍の大討匪行により投降の途上老爺嶺北方の狹谷で亡父の仇とつけ狙ふ自衞團員に倒され　かも殿臣の生前側近を守り信頼されてゐた衞兵の間にさへ眞實として語られてゐるといふのでその郷里たる平埠子の山奥には眞か疑か好奇の眼が一齊に注がれてゐる

『綠林』の英雄にふさはしい頗る時代がゝつた最後をとげた吉林馬賊の大頭目殿臣が曾つて數萬の群小匪賊の上に君臨してゐた土匪王國華かなりし頃掠奪暴行至らざるなく、その惡德の積財まさに五百萬元に上り、主として金の延棒その他貴金屬に代へて郷里に近い山奥に埋めており、皇軍の大討伐が開始されると知りながら遠く逃げることが出來なかつたのも五百萬元の寶を埋めた故郷の山を見棄てるに忍びなかつたためで、遂には不慮の橫死を遂げるに至つたものであると言はれ『瞑目』するに當つても『沒法子』の一言を殘したのみで寶の所在は一言も語らず謎のまゝ埋れてゐるのだといふ、し

鐵路總局入りの鐵道從業員入滿

（大連十七日發國通）內地各鐵道從業員で今回鐵路總局入りに決定した六百名中その第一船百八名は十七日入港の香港丸で來連、十八日奉天に向ふ筈である

海の外から

□磁石の實用化　一八一九年コペンハーゲン大學教授ハンス、C、オアースチツド博士が磁石の兩極にある陰陽の磁場を發見して以來大小磁石の實用化は大いなる發達をして現代に及んだが、目下英國各地の工業地帶では金屬精製品の運搬から屑の掃除用に至るまで磁石裝置の器具を使用してゐる

□「勞働者の三敵」人形　ソヴヰエツト、ロシヤ共和國の首都モスコーに在る有名なカルチユア、レスト公園內には最近「勞働者の三敵」と稱する反共產主義のシンボル人形を所々に配置した、即ち牧師人形、軍國主義人形、フアシスト人形の三種類鐵製のもので時節柄入園者の觀聽を集めてゐる

□千四百萬トンの隕石　米國アリゾナ州では測定數千年前のものと思はれる大穴が海拔百六十呎の高地に於て發見された、直徑一哩、深さ六百呎のものでスウヰスの科學者アルヘニアス博士は踏査の結果、千四百萬トンの隕石落下のためであると發表したが恐らく世界最大最古のものであらう

靑背森林　官有に指定

（吉林十八日發國通）延吉縣靑背森林は大正九年頃井川憲明氏が出資し李長春の名儀で權利を獲得したが、納稅せざるため所有權喪失し大同勸業公司が新權利者となつたが、大同元年滿洲國政府が滯納免稅令を發すや、前記李長春は權利復活と稱して吉林木材會社に四十萬圓で實渡し、茲に二重所有權者を生じ爭つたが滿洲國政府では同森林を官有物に指定伐採を禁止する模樣であると

鮮魚相場

品名	値	品名	値
活鯛	一六五	チヌ鯛	二六
アマ鯛	六一	ボラ	三二
マグロ切	一三	小アヂ	一四
ブリ切	五〇	ヒラス	二六
サハラ	五二	スヽキ	二〇
ヒラメ	一八	ニベ	一〇
コノシロ	一六	キス	二六
マナカツ	二六	ハゲ	一六
サヨリ	五二	カユ小	四〇
カナガシラ	一〇	ホーボ	一三
タコ	二六	甲イカ	五二
中イカ	三二	車エビ	四五
アナゴ	一六	シラオ	五〇
アワビ	三五	カマボコ	四〇
オバ	三五	タナゴ	一八
エソ	八	星カレ	二〇
イナ	一〇	ホタテ	一六

日本（ニッポン）の聖女（マリヤ）

（舞台上演 映画上映）

生田葵

南部龍平畫

（六）

密議（一）

稍しばらく踊つて行く庫之進等の一行の後姿をみ送つて居たが、もういゝと見定めがつくとお春は座敷へと這入つて行つた。

するとわつと餌を待つ小雀が親雀が歸つて來たのを迎へるやうに聲を立てゝ、今迄おとなしく人形のやうに手習ひしてゐた女兒の群は立上がつた。

『お師匠樣、もう大丈夫でございませう、マグダレヤお高樣を出してお上げしても』

年嵩の一人がお春の袖にまつはつて云つた。お春は微笑を浮べてうなづいた。

女兒は寄集まつて床の間のお厨子の前の小机を前へ運び出し、それからお厨子の下の大きなひき出しの環に手をかけてするくとぬき出した。

そのひき出しの中には、足をかゞませ、手をかゞましたマグダレヤお高が横たはつてゐた。

手擴きにしてそのひき出しを千人體の女兒が座敷の眞ん中の疊の上へおくと、マグダレヤお高はすつくと立上がつた。

その手を取つてお春が疊の上へと立たせた。

さつき庫之進にみつけられて追はれた時のむさい乞食婆の姿のまゝであつた。

『さぞお窮くつでございましたらう』

お春の言葉は慇懃であつた。

『なんのく、それよりも此の家へ匿こんで來て一同の人を驚かしたのを濟まぬことに思ひます』

お高は其處へと坐し、お春はじめ十人の女兒達もみな其處へ坐してゐたのに挨拶した。

『これ皆さん達、今日はおいものお布施を道士達が貰つて來て、もう蒸させた故、お八つの御馳走に食べたがよい』

女兒達はお春にさう云はれるとうなづき合つて次の部屋へと退いて行つた。

『危いところを助かつたのも、みな、マリア樣のお惠み、サンタマリア、サンタマリア』

マグダレヤお高は、袖の奧に隱しもつた木の實を綴つた念珠を取り出し、それを振りつゝ床の間のお厨子の子育て觀音へと禮拜した。

『サンタ、マリアく』

お春も首から水晶の念珠を外しうち振りつゝ同じやうに觀音に禮拜した。

『貴女樣は、今日は何處へお出かけになりましたお歸りでございます』

お春が問うた。

『私は今日は深川の巖樣にお目にかゝりに參りました。昨日お手紙があり、今日は三本木の大岩と云ふ料理店に參會があるから、その途中で逢ひたいと仰せこされたのでした。綱手の寺裏の墓掘吉兵衛の家へ立よつて、屋敷町の雇ひ婆となり、さうして丸太町で待つて、三本木まで連れ立ち歩きながらお話をしました』

『何か一大事でも出來いたしましたか』

『これが一大事でなくて何であらう江戸の大老衆は此の京都へ隱し目附を特に差遣はし、勤王の企てに加擔する者は、浪士、儒者、諸國大名の侍は申すに及ばず、御公卿衆までにも手を延ばして召捕へ、關東へ引立ゆかん手筈が極まつたらしい、と巖樣はお話になりました』

『まあ何と云ふ恐ろしい考へ。そのやうなことが眞實となつたなら世は暗闇、それにさからうてゆく人達と、みるく日本國中は刈菰のやうに亂れて、劍と劍とは烈しく打合ひ、大地はむごたらしい人間の血汐を吸ふことになりませう』

お春は、美しい眉をひそめた。